

## 青島 (Quigdao) ・日照 (Rizhao) の視察報告

9月5日から10日の日程で、オリンピック特別委員会の山田、斉藤（マネジメント委員会）、中村（強化事業委員会）で2008年五輪開催地である青島と2006年470級世界選手権開催地である日照の視察を行った。

日程：

- 9月5日 移動：成田→青島、到着後、車で日照へ移動。夕方から日照のホテル視察。
- 9月6日 日照：ヨーロッパ級世界選手権観戦、（470の2006年世界選手権開催地）  
日照スポーツビューローと打ち合わせ、山東省帆走学校校長と会食
- 9月7日 移動：日照→青島、到着後、建設中の五輪ハーバー、練習用基地の視察
- 9月8日 青島：青島テレビ塔からエリアの観察、青島五輪組織委員会訪問、海上視察
- 9月9日 青島：青島日本人会、青島招商促進局、青島五輪組織委員会気象担当者  
Universal Freight System、宿泊施設の調査
- 9月10日 移動：青島→成田

詳細：

### 青島空港

- 位置： 36.16N 120.22E、標高25m
- 空港は2年前に北京五輪をふまえて建物を新築。
- 日本からは成田、関空、福岡、名古屋などからほとんど毎日1便が飛んでいる。
- 市内から30km北になり、市内への交通はタクシー（料金は300元=4000円程度）かバス。
- 滑走路は南北（165度か170度向き）。

### 青島から日照への移動

- バスで市内のバスターミナルへ行き、そこで高速バスに乗り換えて日照へ。
- タクシーで日照まで行く場合は700元=10000円弱程度。
- 青島空港から日照の山東セーリングセンターまでは178km（直線で122km）、所要時間は乗用車でノンストップで2時間程度。道路事情はいいけれど、危ない。

### 中国での運転

- 国際免許が使えないため、中国の免許を持っている人しか運転はできない。
- タクシー、長距離バス、ドライバー付レンタカー、などを利用する。

9月5日

日照到着後は現地で段取りを手伝ってくれた Xu（元ヨーロッパ級選手）、Kevin Chen と打ち合わせ。

18 時より今回選手が滞在しているホテル（BIPO）を視察。

- 大会料金は一人 35 ユーローで、選手は二人部屋、監督、コーチは一人部屋を使用。
- 食事は中華と洋食をバイキングで朝夕ついていた。昼はランチ Box。選手は食事に飽きっていて、イタリアチームは洋食を食べにハーバーのレストランを利用していた。
- 部屋は広いが、ウエットスーツなど、洗濯ものを干すスペースがないのと、朝 5 時から道路で車のクラクションがなり始めるのでうるさいことが難点。
- ハーバーへの送迎はバスがあるが、時間からはずれるとタクシー（7 元 = 90 円）またはバイクに荷台をつけたタクシー（4 - 5 元 = 65 円）を利用。
- 周辺の食堂は中国語のみの中。水餃子の食堂で食べたところ、金額は安く、非常に量も多い。メニューが中国語だけなので、それがわかれば、1000 円で 3 人が食べきれないほどの食事ができる。油とにんにくの味付けは厳しい。

9月6日

ヨーロッパ級世界選手権のレースを見学。斎藤はジュリーボート、中村・山田は観覧艇で海上に出た。

- 中村・山田は早めに陸に戻ったので、同時に開催されていた RSX 大会（世界最初の大会）に参加の選手から情報取得。
- 斎藤は 2 レースを見学して、エリア、風、潮のおおまかな様子を把握。
- 日本からのジュリーで参加していた村松さんからも海上情報を聞いた。
- 海面の詳細はチャートに記入。
- 大会期間中は毎朝 9 時半からコーチ会議があり、運営側とコーチが打ち合わせをする。後半はほとんど気象情報のみ。気象情報はかなり細かい潮情報まででている。
- PRO のツューさんはアテネでレース運営をしていた。本部艇のツューさんは通訳でヨーロッパ級のセーラーを海外レースに連れてきていたコーチ。

17 時より、Rizhao Sports Bureau の Liu Jiakun 氏と面会。来年の 470 世界選手権について話を聞いた。

- 現地での準備は現在行われているヨーロッパ級の大会が終わってから運営委員会ができ、準備が始まる。

- 事前にプレレースがあるかどうかは、それから決まる。(6月初旬にウインドサーフィンのジュニアの大会があります。2007年にはウォータースポーツの大会をやる。7月にオリンピックのプレイベントを行う予定)
- ホテルは政府からホテルに依頼をし、選手に斡旋する。今回のヨーロッパ級は35ユーロでホテル1つにまとまって滞在してもらっているが、470は3件のホテル(三ツ星)を利用する予定。ホテル名は現在未定。
- 選手は空港から Rizhao センターまでバスで送迎する予定。
- レースエリアは現在ミストラルとヨーロッパが使っているように、岸沿いに2海面を設定する予定だが、委員会が組織されてから決定。
- 他の情報は470協会のサイトに随時アップしていく予定。コンテナは平置きできる。本数を知らせるようになる。

18時30分より、山東省セーリングスクールの校長をされている隋氏と食事。

- 隋さんは3月にアビームカップのときに中国チームで来日。通訳の Jane さんはスポーツ省で働いている。ヨーロッパ級の通訳のチーフ。
- 青島の様子、中国のスポーツ省のしくみ、などを話した。
- 来年の世界選手権で日本チームが1ヶ月家なりアパートを Rizhao に借りることができるか聞いてみたが、セキュリティーの問題を確認してみて、連絡をくれるという。政府としては、大会期間中はホテルにまとめて宿泊をしてもらい、セキュリティーをつけるという印象。
- 中国で食事に招待されたときは、最初に飲み物を聞かれ、その飲み物で乾杯をするため、マナーがわかっていないと、酒の飲みすぎになる。

9月7日

日照ではホテルのマネージャーと来年の予約について打ち合わせ。

- マネージャーの連絡先、こちらの連絡先を交換し、こちらの予約の希望を伝えた。(来年はツイン3部屋、スイート1部屋3022号室を希望。来年にならないとわからないという答え。)
- 日照から青島のホテルへはタクシーで700元。非常に高速で走り、170kmを2時間で到着。ただし、運転手は女性、中国語しかわからないため、日照のホテルでマネージャーに道を知らせてもらい、無事に到着。

14時半からオリンピックハーバーの建設地を外から視察。中に入る許可が必要なため、オリンピックコミッティーに面会を申し込み

練習候補地として、Yinhai International Yacht Club を視察。

- すでに、オーストリアチームがコンテナを置いて練習中。
- ハーバーマネジャーと面会。コンテナ1本の年間保管料は40000元、コーチボートの水面係留料金は400元/日/艇。
- オーストリア、フランス、GBR が利用を考えている。イングリグ2艇が水面係留してあった。
- 宿舎については、隣接のホテルがある。団体に申し込むと、調理場所をレンタルできるので、自炊が可能。LAN ケーブルは各部屋にある。料金はスイートで1380元、シングルは468元。ただし、オーストリアチームは居心地が悪いということで、市内のホテルにしていた。周辺に何も無い。
- マリーナの位置は、レースエリアの東側になる。

オーストラリアチームが練習を考えている第一海岸を視察。

- セーリングセンターがあるが、ビーチにヨット教室用の470が並んでいる。
- 海水浴をする海岸の中心部を利用。砂が凄い。
- 東端にある元の山東セーリングスクールの跡地はレストランになっているが、海沿いには青島セーリングクラブがあり、そこは簡単なスロープがあるものの、施設が小さいため、海外からのチームは受け入れができない状態。(正面に海軍基地あり)

18時半より、青島セーリングセンターの Zhao Dong Sheng に面会。

- 49er チームの安い船を捜しているという。
- 49er は第3海岸をベースに活動するので、教えることが必要ならば、こちらも現場で練習という両方の要素を考えて話しを進めた。
- 中古の49erを購入したいこと、指導者を探しているということ、フルタイムでは無理なので、話をしたが、他にもオファーをしているようで、どうなるかはわからない。

夕食をかねて、オリンピックハーバー周辺の宿泊施設やレストランを調査。

- オリンピックハーバー周辺はジャスコを中心に日本企業が事務所を構えている。
- クラウンプラザビルにも日本企業の事務所がある。
- 日本人会もあり、現地に住む人や観光ガイドとして、日本語の情報誌もある。

9月8日

10:30-12:00 青島のテレビ塔へ行き、高い場所からレースエリア、周辺の地形を観察した。

- かすみがかかっており、視界はベストとはいえなかったが、都市の発達具合と海岸線、

オリンピックマリーナの位置、ビーチの位置関係などはチェックすることができた。

- テレビ塔はオリンピックの資料が展示されており、青島がどれだけオリンピックに力を入れているかが理解できる。
- 各種目の展示があるが、中国語で示されているオリンピッククラスをユニフォームに入れることができないかと、中村が提案。

13:30-15:00 モーターボートをチャーターして、オリンピックハーバーを海から視察。

- ハーバーの中まで入っても平気で、建設具合を見ることができた。
- その後はハーバーから1.5km沖まで出て、風と潮のチェック。
- 第1ビーチのそばまで海上視察をした。(詳細は別紙)
- ボートのドライバーに確認したところ、9月よりも8月の午後のほうが風は強いという。
- 49er の練習基地になるという第3ビーチも海側から見たが、南東が吹いた場合、波がたち、出艇が危ないのではないか。遠浅。

16:00-17:20 青島のオリンピックコミッティーを訪問。貴重な情報をもらうことができた。

- 大会主催はBOCOGで、2008年オリンピック、2007年と2006年のテストイベントを運営する。6部門(Competition, Sports Service, Resource, Media, Construction, General)で、54名が専任で働いている。
- Competition部門は現在、テストイベントの準備に追われており、6日、7日にISAFから2名のTechnical Directorが打ち合わせに来たばかりである。
- ISAFと打ち合わせたばかりの内容になるが、2006年テストイベントは8月18日-31日、各国2艇づつのエントリーで11種目を予定している。テストイベントの目的はレース運営の練習であり、4エリアを予定している。エリアの正確な場所はISAFとBOCOGとで意見が分かれているので、決定は先になる。(おおよそのレースエリアの位置と気象ブイの位置を教えてもらった)
- テストイベントでは施設が完成しておらず、選手村は利用できない。組織委員会がいくつかの宿泊先を紹介する。2007年は選手村が利用できる可能性がある。
- ハーバーには建物が5箇所(Logistic Guarantee & Supply Center, Media Center, Athlete Center, Olympic Village, Administration & Competition Management Center)建造中で、そのうちのAthlete Centerだけが2006年テストイベントまでに完成する。
- 青島でのトレーニングについては、オリンピックハーバーは工事中で、テストイベントまでは利用できない。青島スポーツビューローが窓口になる。

(Ms. Sun, 8286-9301 or 137-089902427, [linsun24@hotmail.com](mailto:linsun24@hotmail.com))

- 青島でのテストイベント以外のレース日程については、中国セーリング協会が窓口だが、現在知っている限りではレースがあると聞いていない。
- テストイベントの期間中、宿泊先については、Web で紹介をするものの、手配は各国で行う。(クラウンプラザをはじめ、近いホテルに3食こみの値段で依頼する予定)
- 気象関連については、ブイデータを掲載しているウェブサイトがある。2ヶ月前からのデータが掲載されている。

(<http://www.sailing2008.org/index.htm>)

- セキュリティーについては、ハーバーはアクレディテーションが必要。パスの枚数については、ISAF と協議し、テストイベントの情報として発表する。オリンピック本番ほど厳しい制限はない。
- 現在、ドイツ、オーストリア、フランス、イギリス、オランダなどは、Yinhai Marina を利用している。
- ISAF を通じて、11 月後半から 12 月にかけて、ウェブサイトでテストイベントのためのサービスガイドを出す予定。そこに必要な情報を掲示する。

打ち合わせには Mr. Yuan Zhiping (Deputy Secretary General) が出席して、ISAF との打ち合わせが済んだばかりの情報を教えてもらうことができた。Mr. Yuan は海外のチームとは会わないことが多いそうだったので、日本からの訪問に快く応対していただけて、運が良かったと思う。組織委員会の Mr. Dai Rui (通訳) , Ms. Sui Juan (書記) はともに現場で働く若い人達で、今後もお世話になる。

気象関係の打ち合わせを 9 日 14 時から、気象担当者をまじえて別途行うことになった。

9 月 9 日

10 時より青島日本人会の事務所を訪問し、吉川さんに青島の現状を聞いた。

- 通訳に関しては旅行会社を利用している。大学生の通訳で 1 日 5 - 600 元。通訳のレベルがあがれば、料金も高くなる。(すまいる青島にリストあり) 最初に旅行会社に申し込むときから、全体のプランを相談して見積もりをとったほうがいい。
- 青島日本人会の会長はカトキチ (冷凍食品)。婦人会もある。日本人は 3000 人ほど。
- 現地に入っている日本企業などがわかるリストを入手。
- パラリンピックの大塚さんが訪問していた。
- 宿泊先については、リストの中から自炊ができるホテルを 3 件教えてもらい、それ以外にも長期で滞在している人のいる三度空間 (The 3rd Space) を教えてもらった。
- 治安については、日中関係が緊迫した期間は危険を感じているものの、青島は比較的

平和だったという。最近治安が悪く、強盗が多いので、セキュリティーのしっかりした宿をすすめる。

吉川さんに教えてもらったクラウンプラザホテルのスイートルームについて、料金を調べた。

- 1泊は2150元、長期になると割引があるが、営業部門担当者から連絡をもらうことにした。(帰国した後になるので、メールで連絡をお願いした。)
- 組織委員会は政府を通じてクラウンプリンスを始め、オリンピックハーバー周辺のホテルをテストイベント(2006年)の宿泊地としてまとめて予約しようとしているが、そういったホテルのリストは12月ぐらいに決定し、サービスインフォメーションとして発表されるまでわからない。

11時より河野さんから紹介のあった高氏と面会。

- 青島市招商促進局ということで、日本フェスティバルの申込書をいただいた。
- 青島には1300社の日本企業がきているが、日本人街はない。
- 領事館はなく、北京の大使館か領事館が最寄の施設となる。青島の注意点としては、①交通事故、②置き引きやすり、強盗、ということ。
- 日照は出身地だが、人口は30万人程度の街。街に洋食を食べる場所があるかどうかを調べてもらうことになった。

13時より吉川さんに教わった三度空間(3rd Space アパートホテル)を下見に行った。

- 中国語しか通じない場所だが、施設は予想よりも立派で、普通の部屋とスイートとを見せてもらった。
- 洗濯機がある部屋もあり、長期滞在には快適である。
- インターネットのLANも入っている。
- 日本人が利用するので、衛星放送のNHKも入る。
- 部屋は全体で60室程度かと思われるが、1泊の料金は498円で、長期になると割引で420元になる。
- 申し込みはFAXになるが、日本語ができる人へ連絡することが必要。

施設としては、建物内に洗濯機もあるし、自炊が可能なキッチンがある。長期ならミネラルウォーターもまとめて注文できるし、ハーバーまでは歩くか、タクシーで7元の距離。周辺にはカレフル、ショッピングモール、スターバックスもあり、日本選手には快適に過ごせる場所である。

14時より組織委員会事務所で気象ブイなどを担当している Yie 氏と面会。組織委員会の

Dai 氏も通訳として参加。

- 今からオリンピックまでの間に気象チームが計画しているデータの説明があった。現在、2箇所の気象観測所と1箇所の軍の気象施設との3箇所からのデータを蓄積している。
- 7月から気象ブイ（No.2）が動きはじめ、今後はあと3箇所ふやし、合計4箇所から気象ブイデータをとる予定。
- 潮については、湾の入り口の両側に潮流測定設備を設置し、レースエリア付近の海底にも潮流と波の超音波測定設備を設置してデータをとる準備をしている。
- 現在はNo2気象ブイのデータがWebでアップされたが、こういったデータを全部Webで見ることができるとアテネと同レベルになるとアドバイスしておいた。今のところ、紙データとして関係者に配布するつもりのようなのだ。
- チャートを見ながら、予定されているエリアを確認し、気象ブイの位置も把握した。
- 中国語の風データの印刷物をもらったが、潮のも同じようにあるということなので、メールで送ってもらう段取りをした。
- 組織委員会からチャートを購入する場所を教わり、青島周辺のエリア全体をカバーするチャートを購入した。

15時半より今回通訳やもろもろの段取りをしてくれた Kevin 氏の事務所を訪問。

- コンテナ貨物の輸送について打ち合わせをした。
- Kevin は中国セーリングチームのアテネへの輸送を担当しているし、トレーラーでヨットを引っ張ることもよく理解している。
- 商船三井とも取引があるし、中国の船会社で日本に入っている会社も網羅している。
- 来年の青島でのテストイベント終了後、日照へ470とコーチボートを運ぶため、トレーラーを牽引して移動する手段を考えてもらう。
- アメリカ資本の会社なので、太平洋便から全部を把握できているので、来年の輸送はお願いしたいと思う。

17時より、中国式マッサージを体験。

- さまざまな種類があるが、料金は安い。（2500円程度）
- 選手の疲労回復に上手に利用することは可能。治療にはならないが、疲労回復には十分。

9月10日

移動： 青島より帰国

### 今回の調査で考えた青島の風

- 2001年7月に開催された OP 世界選手権に参加した選手の話では全く吹かなかったというが、7月は梅雨、気圧配置から、風が弱いと考えられる。
  - 朝は風が弱く、陸風になっているが、10時頃にはもう南西に回り、その後、南西のまま強くなるか、南、南東から強くなる。
  - 気温が高い時間に15時から16時頃にピークとなり、その後は徐々に落ちていくという普通の海風パターンが見える。
  - 強くはならないが、平均で11ノットくらいまであがっているのではないか。
  - 台風の影響があるときには東からの風が強く吹く。
  - 今夏のブイデータが入手できたので、これらの資料を解析しながら、青島の海風のしくみを検討していく。
- 岡本治朗さんに解析をお願いした結果は別紙にて報告。

### 青島の潮

- 干満さが大きいので潮は速いと思われる。測定は1回しかできなかったのですが、テストイベントなどを利用しながらデータを蓄積していくことが必要。
- レースエリアの水深と潮目、まき潮などがあるので、地道に調査することが必要。
- 潮の大きな流れは満ちの時に青島の湾へ引かれ、引きになると反対に流れ出る方向。

### 生活一般

- 電圧は220V,日本の電気プラグが入るところも多いし、はの字型もある。
- インターネットは新しいホテルはLANの線が入っているが、設定がうまくできない場所もあれば、回線が遅いこともある。
- 携帯電話は日本から持っていった FOMA (斉藤) は日照では i-Mode も使えたが、青島では場所により i-Mode が接続できない。電話の GSM は青島でも大丈夫だった。Vodafone (山田) は基本的に使えるが、中村の電話はつながらなかった。
- 生水は飲まない。一度、訪問中にだされた水を飲んだが、薬の味がし、飲めない。ミネラルウォーターは大丈夫。
- 現在、下水道を整備しており、市内は工事が多い。海には周辺の下水が流されているようで、河口の匂いはひどい。しかし、人口730万人の大都市から考えたら、きれいなほうではないか。
- 宿泊施設の周辺にはファーストフード(ケンタッキーフライドチキン、マクドナルド、スターバックスなど)があるが、値段は日本よりもやや安い程度で、中国の食事としては高い。